

## 10月3日 会員卓話



### 『 ロータリークラブについて思うこと 』

市川 英敏 会員

八潮みらいロータリークラブが創立して1年7か月経過致しました。皆様の御協力で加藤初代会長の元、幹事を努めさせて頂きました。私にとっては、とても充実した日々でございました。改めて会員皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

三つのクラブが合併し、八潮みらいロータリークラブは出来上がりましたが、最初から合併委員会にも顔を出させて頂き、クラブの基礎創りに加わらせて頂きました。これも素晴らしい経験でした。

三つのクラブそれぞれのクラブ運営方法が異なっておりましたが、初年度は加藤初代会長の運営通りにさせて頂きました。元八潮シティロータリークラブ、元草加21ロータリークラブの皆様は面食らった運営方法もあつ

たと思います。しかし、加藤初代会長はロータリーの基本通りに会を運営してまいりました。

ロータリークラブの基本の運営は、会長を中心に実施項目を立案し、理事会で審議し、理事会の決定事項を幹事が実施していきます。理事会は会長以上に責任があります。この基本を守っていけば、クラブ運営はスムーズに進んで行きます。

加藤初代会長も、自分の思いの30%位しか実行できませんでした。会員皆様全員が、事業主でございます。いわば組織のリーダーです。自分の思っている事の半分も出来ない事にストレスが溜まるかもしれません。そこはロータリーの奉仕の精神、思いやりの心で粛々と実行していく事と思います。

ロータリークラブは会員全員が主役です。会員電員が平等です。地区の役員も、ガバナーも、RI 会長も一会員です。それがロータリークラブです。

堅苦しい事ばかり言いましたが、基本を守り、楽しく、長続きするロータリー活動を行っていきましょう。会員皆様、宜しくお願い致します。